



雷検知・予報 IoT みまわり伝書鳩



最優秀賞

ジャパン・レジリエンス・アワード

2026



SAAF

しなやかに、社会を支える。

雷検知・予報IoT みまわり伝書鳩とは？

「雷・熱中症リスクを一元管理し、 現場の安全判断を支援するクラウドサービス」

■サービスの特徴

近年の気候変動に伴い、落雷の発生件数や落雷事故はこの10年間で約1.7倍に増加しているといわれています。
「雷検知・予報IoT みまわり伝書鳩」は落雷の危険性を事前にお知らせしてくれるIoTクラウドサービスです。文教、自治体、工事現場、工場、イベント施設など幅広くご利用頂けます。
雷検知・予報だけでなく気象計測も可能で、風速、雨量、気温、湿度、気圧、照度などの計測から夏場の熱中症対策としてご活用いただけます。危険度によって管理者へアラート通報（メール/LINE）します。

半径約40kmの雷をセンサーで検知し、気象庁の雷ナウキャスト（雷予報）と自動連携し、雷危険度をアラート通知します。

現場で活動している方は高輝度LED表示機と積層灯で警告します。

クラウドサービスなので遠隔から現地の気象情報や熱中症アラートを確認することが可能です。

みまわり伝書鳩は幅広い計測ニーズに応えるべく、さまざまなセンサーに対応しています。（騒音・振動、粉じん、濁度SS、pH、水位、他）

■サービスの特徴

雷検知範囲	半径40km
雷予報リードタイム	最大60分先
表示	パソコン/大型ディスプレイ/スマートフォン/積層信号灯/LED表示機
通知	メール/LINE
熱中症対策	温湿度・WBGTによる熱中症アラートと連携
管理	クラウド一括監視
導入	低コスト・簡単設置で大規模工事不要

「ジャパン・レジリエンス・アワード2026」にて 最優秀賞を受賞いたしました 🏆

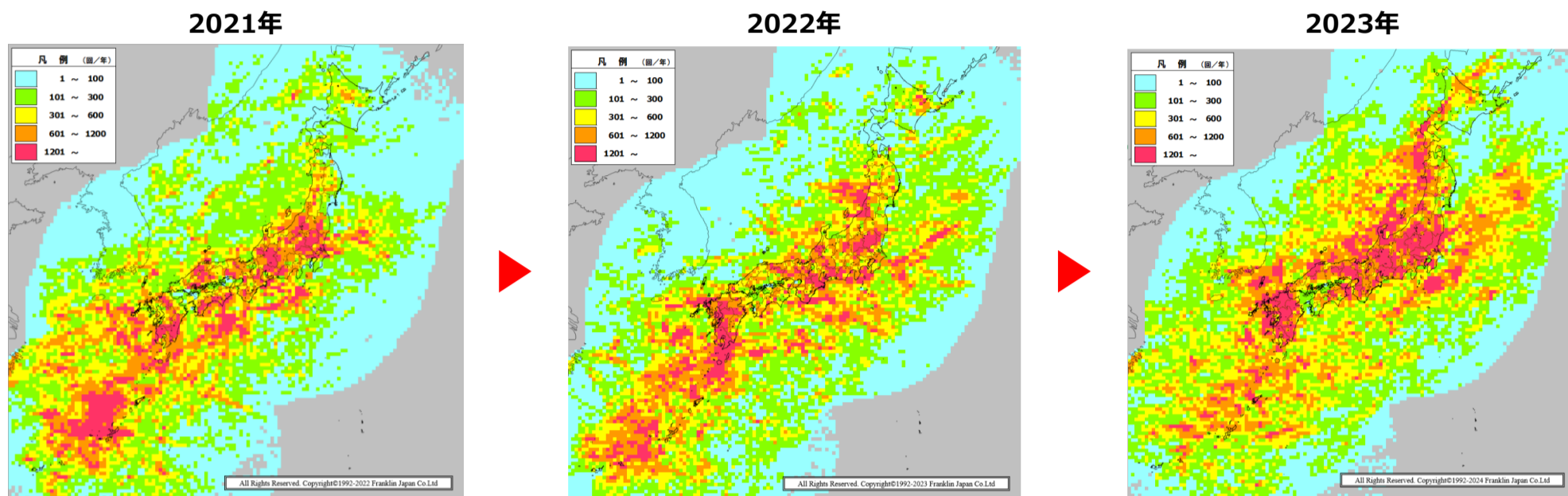


「ジャパン・レジリエンス・アワード」とは？

ジャパンレジリエンスアワード（強靱化大賞）は、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催する表彰制度です。次世代に向けたレジリエンス社会の構築を目的としています。災害に強い国土や地域、持続可能な社会を目指す活動、技術開発、製品開発などに取り組む企業・団体を評価・表彰します。

異常気象の影響で増え続ける落雷

「近年全国的に落雷頻度が増加傾向」



出典元：雷情報サイト「雷ぶらり」（株式会社フランクリン・ジャパン運営）

図は、日本列島を一辺20kmのメッシュで区切り、メッシュ内の落雷数を最近10年間の積算で集計して色分けしたものです。南東北から関東地方にかけての内陸部、中部・近畿・中国の内陸部、九州からトカラ列島にかけてのエリアが雷の多い地域となっています。

「部活動中にグラウンド等で「落雷事故」が多数発生」

中高生6名が救急搬送



2025年4月10日
(奈良県奈良市)

高校生2名が心肺停止
18名が救急搬送



2024年4月3日
(宮崎県宮崎市)

■ 学校関連の落雷事故（2014～2025年）

	落雷当日の状況	学校側の対策や行動
2014年 (高校野球部)	激しい雨で中断→5分後に晴れ間 →再開直後に落雷	グラウンドに 避雷針12本設置
2016年 (高校野球部)	朝から落雷注意報→当日は雨・雷鳴はなかった →突然の落雷	雷注意報を認識済み
2024年 (高校サッカー部)	事故10分前まで雷鳴や強雨はなし →予兆なく落雷	監督は予報アプリを確認していたが、 事故直前は未確認
2025年 (高校サッカー部)	市全域に落雷注意報→多数の部活が活動 →雨雲を確認しようとした矢先に落雷	雷注意報把握 / 予報確認を試みていた

これまで、現場（先生・監督）に集中した責任課題が残っていた。現場の判断と対応だけでは限界がある。

導入メリットについて

学校全体に“同時に届く仕組み”で安全性を高めることが可能



生徒

子どもたち

積層灯や校内放送で
即時に危険を把握

すぐに避難行動へ



学校

先生・監督

アラート通知や校内放送で
判断をサポート

迅速な指示が可能に



指導者

学校管理者

アラート通知や校内放送で
学校としての対応が明確化

学校全体の統括が可能

導入前後の比較

BEFORE

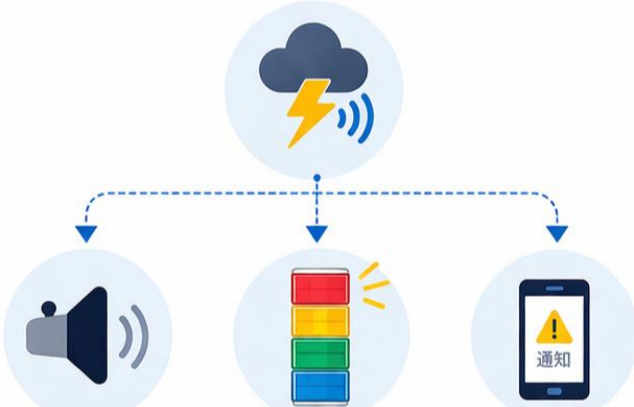
先生自身が空模様や天気予報を
確認する必要があり、
判断や連絡に手間と負担が…



雷検知・予報IoT

みまわり伝書鳩

雷を検知・予測し、危険をすばやく自動でお知らせ！



校内放送

自動でアナウンスが流れ、
すぐに全校へ周知

積層灯が点滅

視覚的に危険をお知らせし、
すぐに状況を把握

スマホに通知

先生のスマホに自動で通知が届き、
確認の手間を削減

先生の確認負担を軽減し、
すばやに対応で生徒の安全を守れる！

AFTER

自動でお知らせが届き、
すばやく安全に対応できる！



- 空模様を見ながら、担当顧問の経験や主観で避難を判断していた
- 特定の教員が携帯型雷検知器を所持し、アラームが鳴った際のみ対応していた
- 気象庁の「雷ナウキャスト」を教員が常に監視し、授業や部活動の合間に判断を迫られていた
- 明確な避難基準が策定されておらず、現場の裁量に委ねられていた



- 雷リスクの数値化により、組織全体で統一されたルールに基づく避難判断が可能となった
- 広域予報と現地設置の検知器を組み合わせ、ピンポイントで精度の高い避難判断を実現した
- 屋外のLED表示器や積層信号灯により、その場にいる全員がリアルタイムで危険を察知できた
- 自動検知・通知の仕組みにより、管理者の監視負担が軽減され安全体制の強化につながった

製品の詳細

Check !

製品・サービスの詳細を動画で紹介しております！
QRコードよりぜひご覧ください。



■セット一式



設置後すぐ使える簡単な構成

計測地点に設置すると自動的にデータを取得し続け、いつでもお手持のブラウザからデータ確認が可能です。

各機器の設置方法は、単管パイプに取り付ける程度で簡単に設置できるため、設置の手間、撤去の手間なく自動計測が開始できます。

■内訳一例

- ・ 気象計測センサー
(温度・湿度・風速・風向・雨量・熱中症指数・気圧・照度)
- ・ 雷検知センサー
- ・ 四色表示積層灯
- ・ 虹色伝言板
- ・ みまわり伝書鳩
(LTEユニット、電源ユニット、外部連携端子台など)
- ・ その他、関連機材

シンプルで使いやすい操作画面

計測した最新のデータが表示されるため、直感的に状況を把握可能です。

カメラを利用している場合は、最新の画像データが表示され、視覚的にも確認可能です。

計測データの項目を選択すると、グラフ表示されデータの推移が確認できます。

計測したデータはCLOUDに保存され、指定した期間での表示が可能です。

■他社製品との比較

	気象庁ナウキャスト	携帯型検知器	みまわり伝書鳩
検知範囲	全国の広域情報	所持者周辺	学校を中心に半径40km
検知方式	気象庁データを数分～10分間隔で更新	60km以内の落雷を電磁波検知	気象庁データ+現地センサー
通知の到達範囲	手動確認→個別把握	所持者のみが把握	現場・関係者へ一斉通知
運用負担	常に手動確認が必要	室外で使用する必要あり	自動通知
記録・検証	記事・ニュース	残らない	クラウドに履歴保存



導入事例

事例 1 : 埼玉県立新座総合技術高等学校



- 学校現場での運用を2025年9月より先行して開始
- 現場の先生方からも「確認負担が減った」とのお声あり
- 設置した「みまわり伝書鳩」を例に挙げ、組込みシステムについての授業なども実施

事例 2 : 工場現場



- 屋外作業時の落雷による被害リスクを減らすために避難指示機として導入
- LED表示器や積層灯で作業員へ避難指示が自動でだせるので管理者の負担が軽減した
- 気象計測により熱中症アラートや雨量、風速など設備保全の対策に活用

事例 3 : トンネル工事現場



- ダイナマイトを利用するトンネル工事現場にて利用開始（落雷の漏洩電流による誤爆を防ぐ）
- 雷検知、粉塵、雨量、排水の水質計測などの幅広い計測をクラウドで一元管理
- 安全管理、環境保全、熱中症対策として活用

事例 4 : イベント会社



- 屋外イベント開催する際の落雷による被害リスクを減らすため
- イベント会場の風速、雨量などを観測し中止判断指標に活用
- 夏季のイベント時に熱中症アラートとして活用

よくあるご質問

Q1. 雷ナウキャストやスマホアプリの確認だけでは不十分ですか？

不十分な場合があります。雷ナウキャストは広域情報であり、局地的な雷の「実測」にはタイムラグがあります。本システムは「60分先の予測」に加え、半径40km以内の放電を「雷検知センサーで実測」するため、精度の高い判断が可能です。

Q2. 避雷針があれば、生徒の安全は守れるのではないですか？

避雷針は「建物」を守る設備です。避雷針は落雷を誘導して建物への被害を防ぎますが、周囲にいる人の安全を保証するものではありません。児童・生徒を守るには、落雷前に「早期に察知し、避難する」ための本システムが必要です。

Q3. パトライトが鳴ったら、必ず活動を中止しなければいけませんか？

最終判断は管理者様に委ねられますが、明確な「避難の根拠」になります。「まだ大丈夫だろう」という主観を排除し、システムが出す客観的データに基づいた判断ができるため、判断の遅れによる事故リスクを激減させます。

Q4. 学校の既存ネットワーク（Wi-Fi等）に接続する必要がありますか？

原則不要です。本システムにはLTE通信SIMが実装されているため、学校側のネットワーク負荷やセキュリティ設定の変更を気にせず、短期間で導入・設置が可能です。

Q5. 先生や保護者に、リアルタイムで情報を共有できますか？

メールやLINE（オプション）で自動配信が可能です。検知と同時に自動でメッセージが届くため、部活動の急な中止や下校時間の変更などを、関係者全員へ瞬時に、かつ正確に共有できます。

Q6. 熱中症対策（WBGT）の管理も一緒にできますか？

対応可能です。温湿度・WBGTセンサーを連携させることで、雷と熱中症の両方を一つの管理画面で監視できます。夏季の「熱中症警戒アラート」運用も自動化・効率化できます。

Q7. 過去の検知ログは保存されますか？

クラウド上に1年間分のログが自動保存されます。計測情報の履歴が残るため、万が一の事故の際や、保護者への説明責任（エビデンス）として非常に重要になります。

Q8. 屋外に設置する場合、特別な工事が必要ですか？

大がかりな工事は不要です。本体をポールや壁面に固定し、電源を接続するだけで設置完了です。ネットワークもLTE通信を利用するため、屋外への通信線工事も必要ありません。

Q9. 導入に向けてはどのような流れになりますか。

以下、導入までの流れになります。あくまで一例となります。



Q10. 導入後のアフターフォローや定期的な点検プランはありますか？

専用のサポートデスクをご用意しています。機器の不具合や操作方法に関するご質問は、お電話またはメールで迅速に対応いたします。遠隔での状況確認も可能なため、スピーディーなトラブル解決が可能です。また、「機器保守サポートパック（オプション）」をご用意しております。本プランでは、専門スタッフが半年に1回の定期点検を実施。センサーの受光部清掃、積層灯の点灯確認、通信状態の診断を行い、常にベストな状態で稼働し続ける体制を整えます。



会社概要

会社名	SAAFホールディングス株式会社
代表者	代表取締役 左奈田 直幸
所在地	〒135-0061 東京都江東区豊洲三丁目2番24号 豊洲フォレシア9F
電話番号/FAX	TEL 03-6770-9970 / FAX 03-4363-1154
メールアドレス	mimawari_pr@saaf-hd.co.jp
WEBサイト	https://www.saaf-hd.co.jp/
事業内容	ITコンサルティング、システム開発、システム機器販売、人材派遣・紹介、地盤調査改良、地盤保証等を営む傘下子会社及びグループ会社の支配及び管理並びにこれに付帯又は関連する業務

アクセス

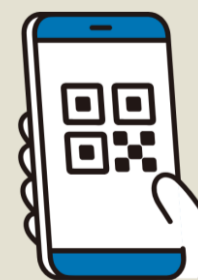
東京メトロ有楽町線豊洲駅
1C出口より徒歩1分



Check !

＼ 製品・サービスの詳細を動画で紹介中 ／

▶動画視聴用QRコード



お問い合わせはこちら

🔍 | [みまわり伝書鳩](#) 🔍